

# パモジャ PAMOJA



第33号  
青年海外協力隊 巢守 世那  
2026年 5月25日発行

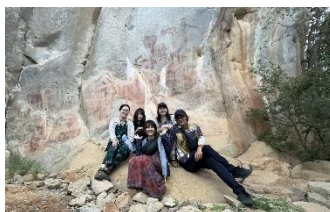
## タンザニア旅行記～イリンガ編②～

### Hamjambo?

タンザニアには150以上の部族が住んでいますが、イリンガには主にへへ族が住んでいます。イリンガの町には他の町に比べるとごみが道端に落ちていることが少ない気がしました。そこで現地の人にどうして?と聞くと、「へへ族だからだよ。」とされました。道路の看板にも、「へへ族はきれい(清潔)だ」と書かれているものがありました。たしかにタンザニアで過ごしていると部族によって性格や好きなことが違うなと感ずることがありますが、自分の部族を誇りに思い、町を大切にしようとする気持ちはとても素敵だなと感じました。

そして、イリンガは歴史的にも重要な場所です。ドイツの植民地時代影響が残っていたり、石器時代の遺跡があったりします。イシミラ遺跡とロックアートを見ることができる Igeleke という場所に行ってきました。

### イゲレケ Igeleke



約4万年前の石器時代に描かれた赤い壁画です。当時の人々の暮らし(狩猟)や家、生息していた動物が大きな岩に描かれています。どうしてこのような絵を書いたのかについては、「狩りの成功を願う」「儀式」「日常生活の記録」など様々な説があります。

4万年前に住んでいた人々が残した記録というだけでわくわくしました。どんな動物がいるか見つけてみてください。

### イシミラ遺跡



人類の歴史を知る手がかりとなる場所といわれており、約6万年前～10万年前の人類がどんな道具を使っていたかを知ることができます。石器が見つかっていて、狩りをして生活していたことや、石を加工して道具を作る技術があったことを示す痕が残っています。また、この柱のような地形は、雨や風で長い間削られてきたものと考えられています。

この遺跡を歩いていると、タイムスリップしたような気持ちになりました。とても壮大で自然の力の大きさを感じました。